

20190730 有識者会議 資料

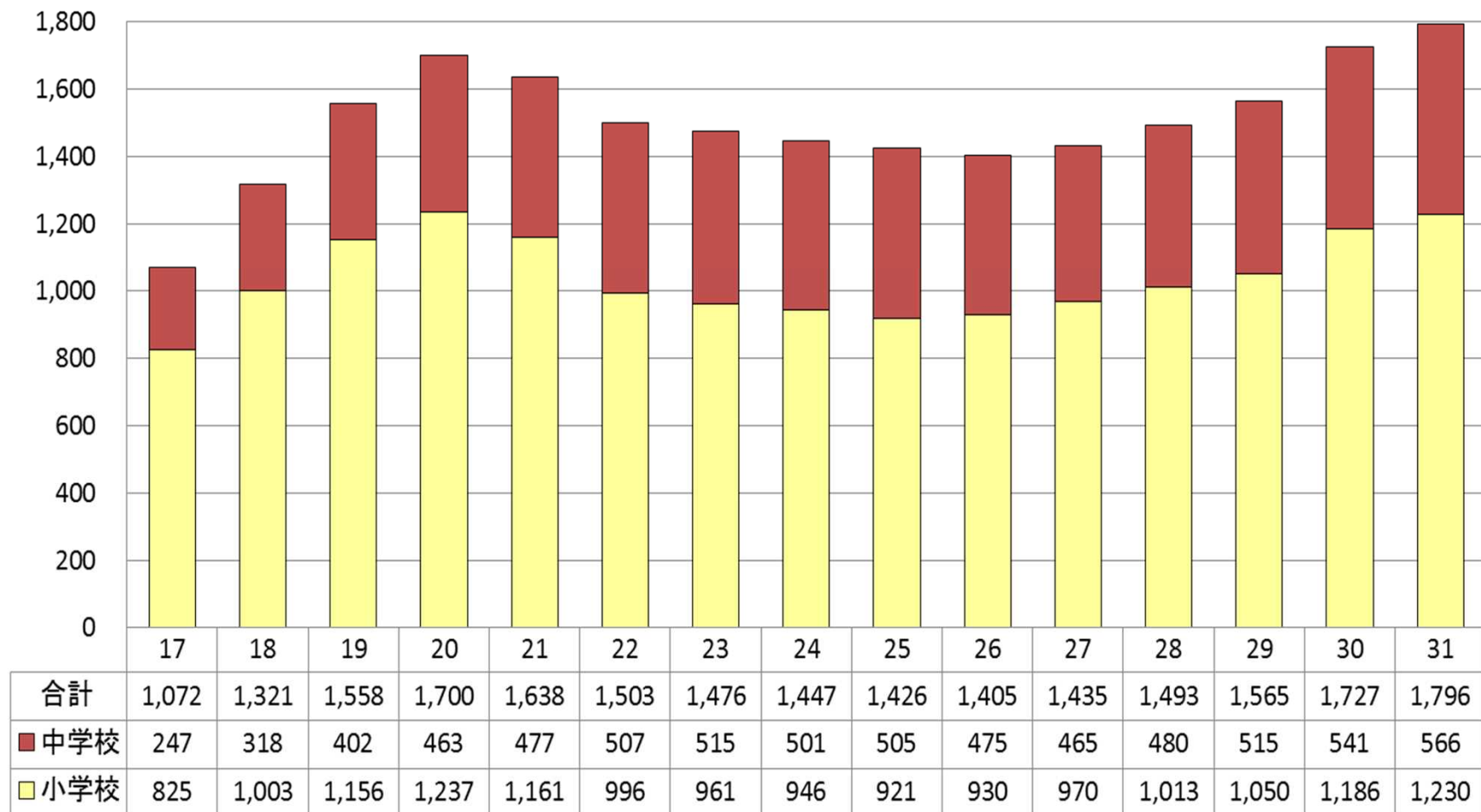
浜松市における 外国人児童生徒等の状況と 指導体制について



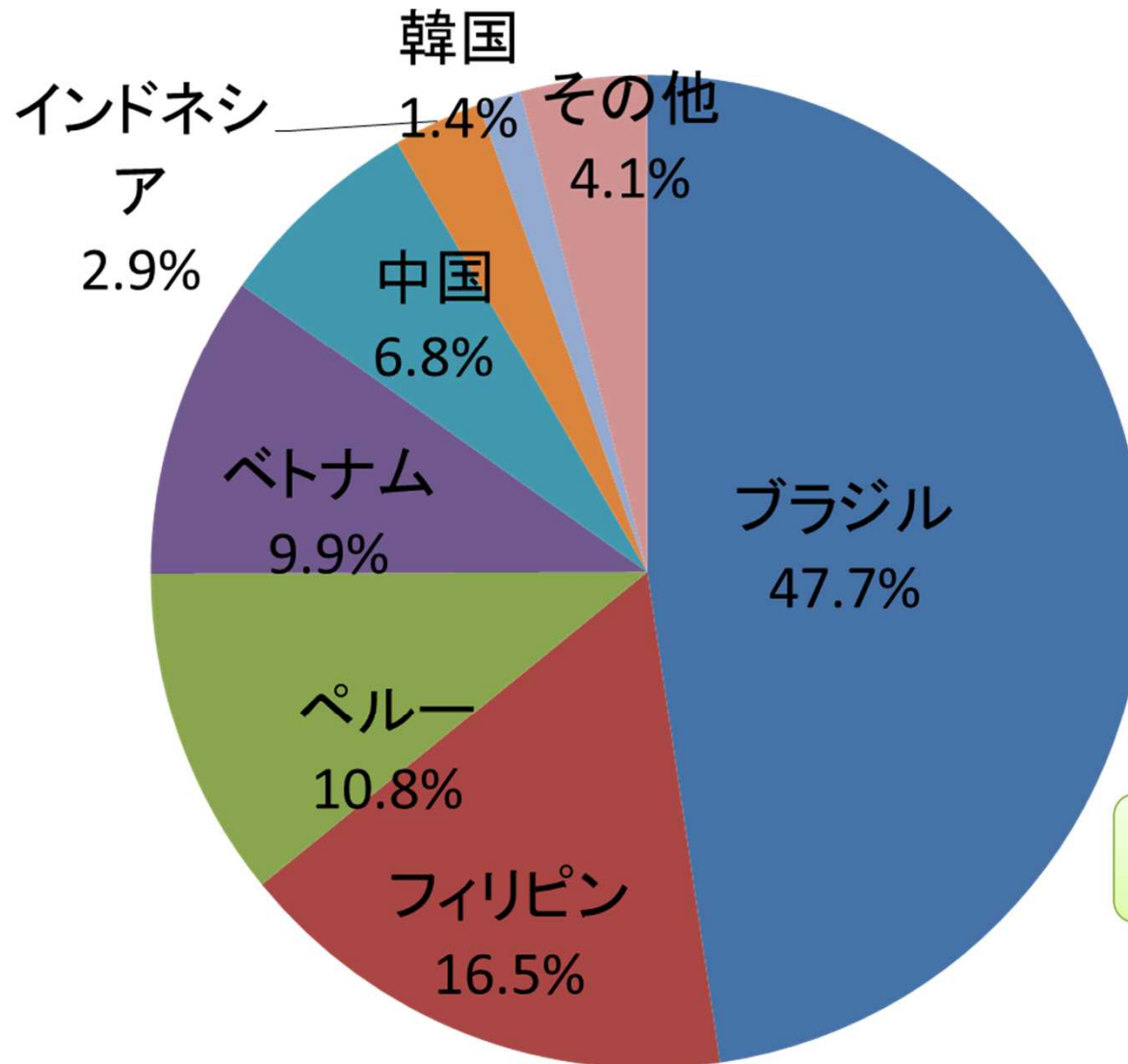
浜松市教育委員会学校教育部指導課
教育総合支援センター
外国人支援グループ 櫻井 敬子

外国人児童生徒等の状況

市立小中学校に在籍する 外国籍児童生徒数の推移



外国籍の児童生徒 国籍別内訳



30か国

多国籍化

令和元年5月1日調査より⁴

外国籍児童生徒在籍数

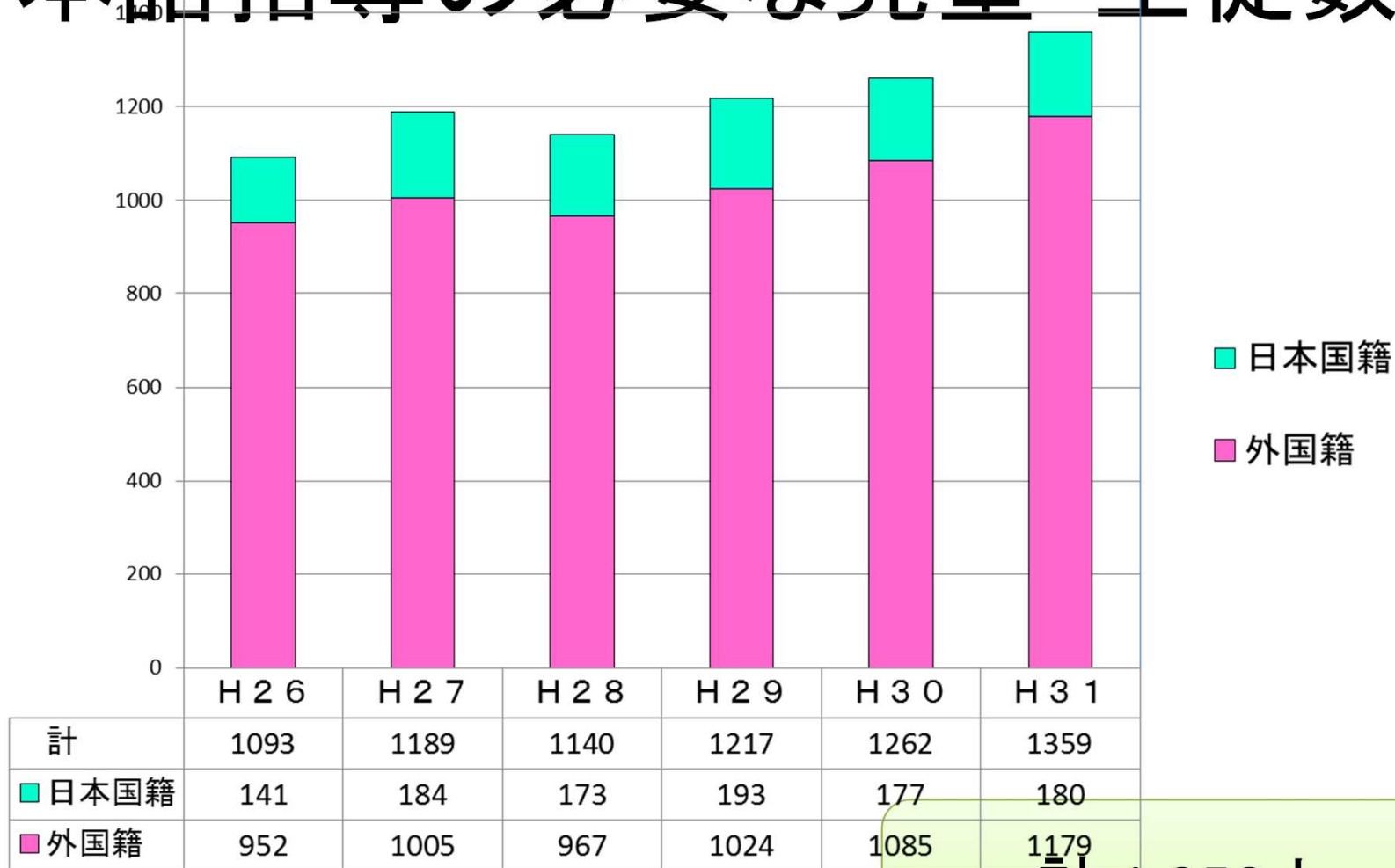
外国人指導加配
配置校28校37人

在籍数	小	中
0	17	9
1～4	27	7
5～9	15	11
10～19	18	12
20～29	8	7
30～39	7	1
40～49	0	0
50～59	1	1
60～69	1	1
70～79	0	0
80～89	1	0
90～99	2	0
100～	0	0
合計	97	49
在籍有	80	40

集住・分散

市内82.2%の
学校に在籍

日本語指導の必要な児童・生徒数



計 1,359人

- ① 日本語で日常会話が十分にできない
- ② 日常会話ができても、学年相当の学習言語能力が不足し、学習活動の取組に支障が生じている

外国人児童生徒への支援

外国人子供教育支援推進事業

- 1 就学相談と適応支援、母語支援の充実
- 2 日本語能力に応じた支援の推進
- 3 ライフコースを見据えた支援の推進

1 就学相談と適応支援、母語支援の充実

ア 母語による教育相談（電話相談、来所相談）

ポルトガル語 スペイン語 タガログ語 英語 フランス語 中国語の相談員が
教育委員会（教育総合支援センター）に常駐

相談内容・・・編入や転入 発達 進路 いじめ 不登校など
年間約600件

イ 学校の要請を受けて訪問

生徒指導 面談 懇談会など

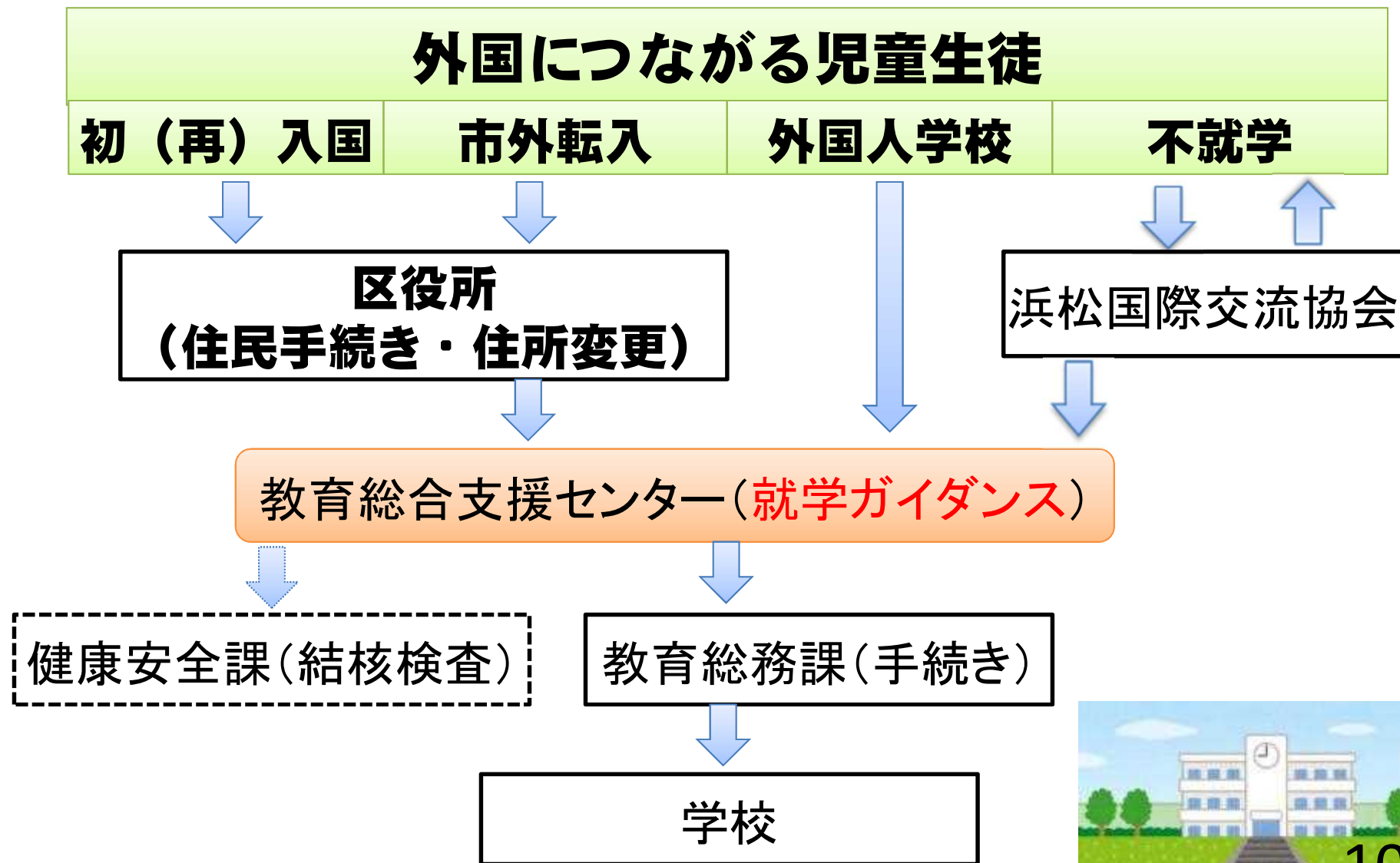


ウ 就学ガイダンスの実施

浜松市へ編入・転入する外国人児童生徒に対し、ガイダンス
を行う 昨年度：学齢181人 新学齢210人

エ 母語教室の開催（ポルトガル語 スペイン語 ベトナム語）

外国につながる児童生徒の受入



就学ガイダンスで聞き取る児童生徒に係わる情報

①児童生徒...

氏名(フリガナ)、生年月日、性別、国籍、出生地、
上陸許可年月日、在留資格、居住地、自宅電話、日本語能力

②保護者...

氏名(フリガナ)、児童生徒との続柄、職業、生年月日、
携帯電話番号、日本語能力

③状況...

前学校、生育歴・就学歴、家族構成および家庭の状況、帰国予定

④その他...

発達障害等診断の有無・宗教等、

⑤健康状態...

アレルギー、結核精密検査の要不要

⑥初期適応指導...

初期適応の有無、
バイリンガル支援者の派遣

外国人児童生徒就学ガイダンス記録				
児童生徒		平成20年度 実施日		
フリガナ		生年月日		
氏名		性別	国籍	
居住地		連絡先		
保護者に関する情報				
フリガナ	氏名	続柄	勤務先	連絡先(携帯電話) ****
フリガナ				
保護者				
配偶者				
保護者の職業				
保護者の職業				
※ 日本語力 A: 通訳も翻訳も必要がない。(得意理由の教科書の読み書きができる) B: 読み書き程度で、通訳が必要である。(現) (児童生徒) C: 会話ができるが文書は翻訳が必要。(ひらがなを認める。) D: 片言通訳ができる程度のみ話ができる。(日本語の読み書きができない。)				
保護者の職業・業種(職種)				
データで学校に送付				
保護者の職業	業種(職種)	フリガナ		11
前学校名				
生				

2 日本語能力に応じた支援者の派遣

支援者派遣スケジュール

日本語指導のプログラム 支援者		~14日	~3か月	~4か月	~5か月	~6か月	~12か月	~24か月	~36か月	~
初期適応指導 <u>初期適応サポーター*</u> 就学支援員 就学サポーター 初期適応指導員										
日本語基礎(技能別日本語) (主に国語の時間に行う) 日本語・学習支援者										
日本語・学習支援	JSL取り出し(免許有) 教科指導員									
	教科の補習(取り出し) (技能別日本語) 日本語・学習支援者									
	教科の入り込み <u>初期適応サポーター*</u> 日本語・学習支援者 就学支援員 就学サポーター									

1 編入手続き前のガイダンス

【実施者:教育総合支援センター】

2 初期適応指導の必要有無の判断

【実施者:教育総合支援センター】

初期適応指導が必要

初期適応指導は不要
日本語・学習支援は必要

在籍学級で
支援なしで
学べる

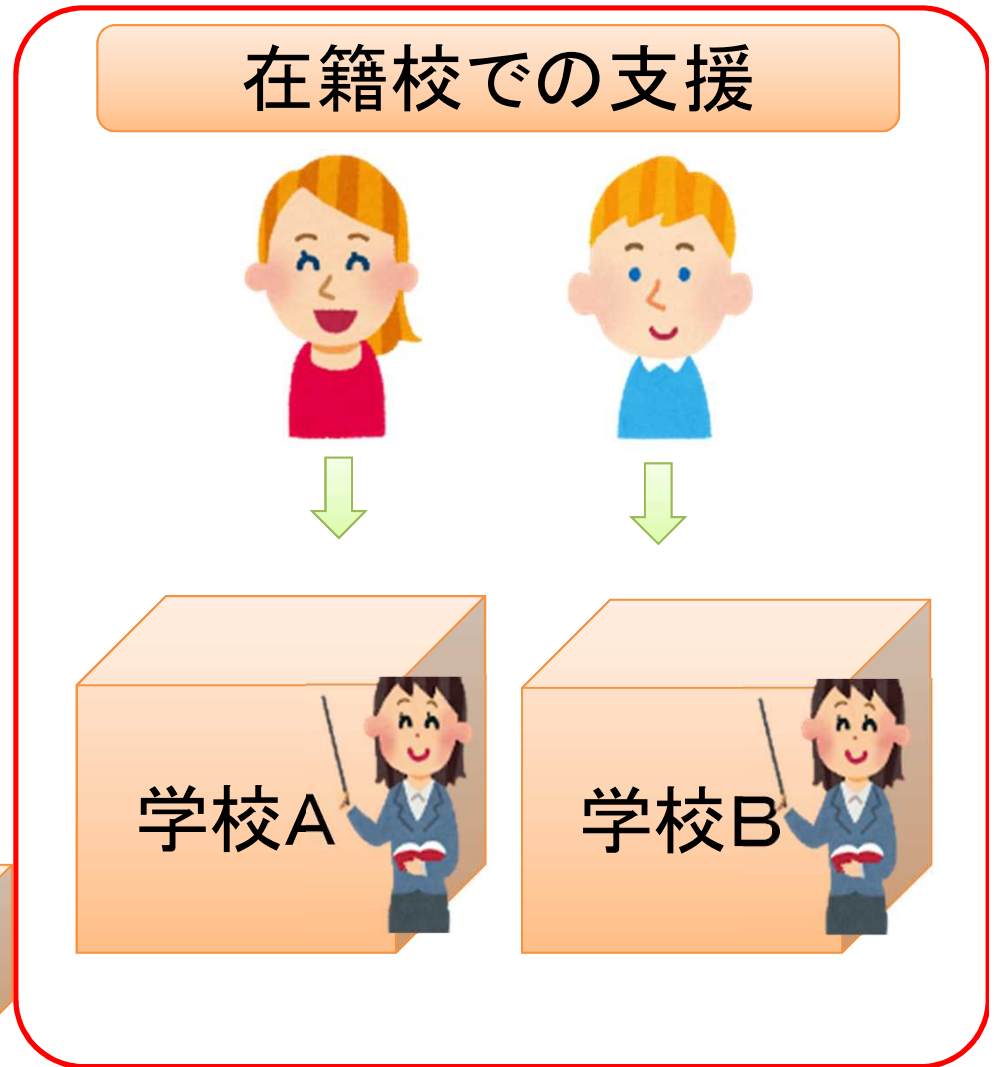
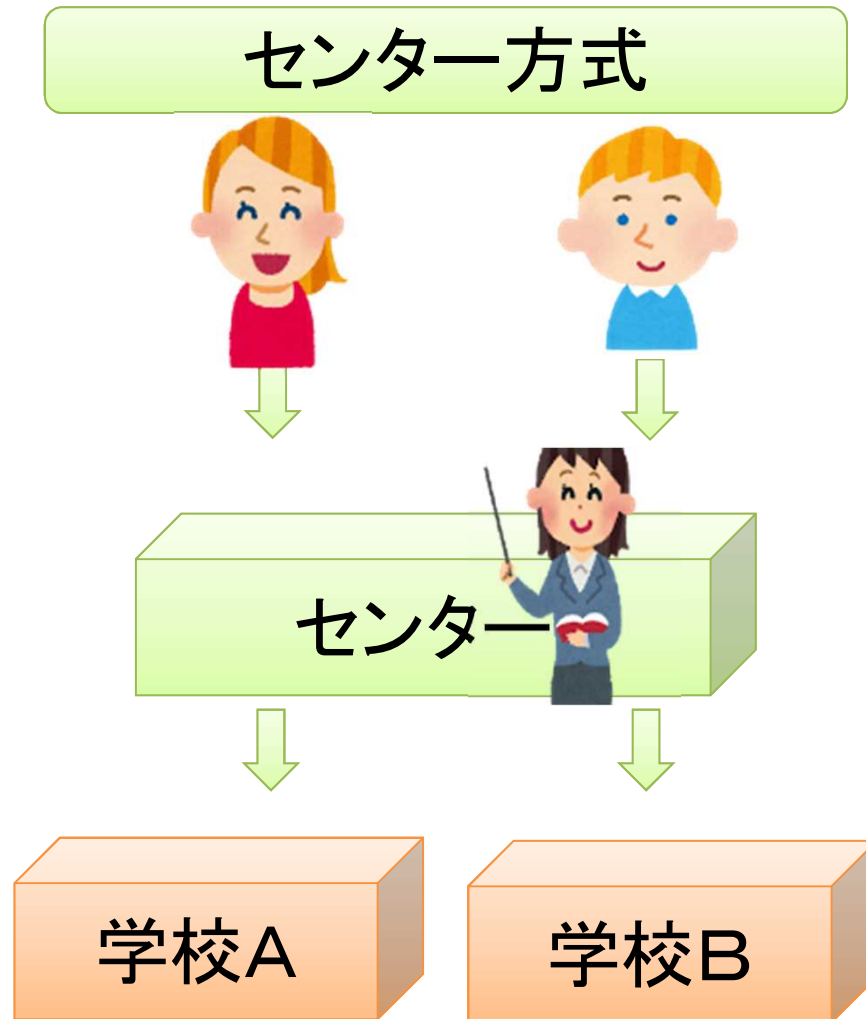
3 初期適応指導の実施 4時間×10日
バイリンガル支援者派遣

4 日本語基礎指導の実施(70時間)
67文型指導

5 日本語・学習支援の実施
教科の補習 日本語と教科の統合学習

6 在籍学級において、日本語で学ぶ

浜松市は支援者派遣型で実施



教員向け研修

外国人児童生徒指導 リーダー研修
7回

新任日本語指導加配研修 2回

外国人児童生徒等教科指導員研修 3回



※上記のうち、2回の研修会には静岡市の日本語指導加配2人も参加

バイリンガル支援者向け

バイリンガル研修会 7回

特別支援や進路に係る通訳の仕方

3 ライフコースを見据えた支援の推進

- 入学準備ガイダンス(2月)プレスクールにて
- 進路について語る会(6月)
- ロールモデルとの出会い(適宜)
- ステップアップクラスの実施(60回×市内2カ所)

特別の教育課程

特別の教育課程を編成し指導を実施した数

校種／年	平成29年(報告)	平成30年(報告)
要日本語指導	1217人	1262人
小学校	510人	653人
中学校	135人	172人
実施数 計	645人	825人

180人増

特別の教育課程を編成した指導を実施するため

平成30年より「外国人児童生徒教科指導員」制度開始

派遣をすることにより日本語指導加配措置校以外に
「特別の教育課程」を編成した指導が実施可能に

- 教員免許保持
- 取り出してJSLカリキュラムによる指導を行う

外国人児童生徒教科指導員

令和元年度 小学校:13校(29人) 中学校:15校(13人)

小学校は、算数に特化し取り出し指導を行う。



- 「特別の教育課程」を編成した指導
- 子供の心の安定
(指導者がよき理解者になる)
- 苦手意識を持ちやすい算数において、自信を持つことができる

特別の教育課程を編成した指導を普及させるために

- 1 外国人支援担当指導主事による学校訪問 年間7校**
日本語指導加配 教科指導員 支援などの授業参観
個別の指導計画への指導助言
(訪問校以外は 個別の指導計画など帳簿点検のみ行う)
- 2 「教科指導員コーディネーター」による学校訪問**
授業参観 懇談
- 3 「特別の教育課程」実施のための研修**
「新任日本語指導加配研修」
「JSLカリキュラム研修」
「教科指導員研修」
- 4 教務主任研修会 教頭研修会での「特別の教育課程」説明**

ICTの活用について

バイリンガル支援者・相談員に代わって

保護者や児童生徒への通訳・翻訳

①タブレットのテレビ電話機能を使って(フェイス タイム)



【教育総合支援センター】
バイリンガル相談員



ポルトガル語 スペイン語
タガログ語 フランス語
英語 中国語



【学校】
先生・児童生徒・保護者

活用の場や状況

家庭訪問

タブレットを担任（外国人担当）が家庭に持っていき、センターの相談員とつなぐ。

子供・保護者への緊急対応

緊急の生徒指導などの際、センターの相談員と学校をつなぐ。

- ② タブレットの多言語翻訳アプリ(グーグル翻訳)
- ③ 多言語翻訳機(ポケットーク)2台《国際課》



母語の読み書きができる児童生徒への学習支援
保護者への簡単な内容の説明

正確な翻訳にするためには、使用者に慣れが必要。
一斉授業の中での使用は、難しい。
正確に翻訳できているか、分からない。

課題

- 多言語化への対応
- バイリンガル人材の確保
- 特別の教育課程を編成実施するための免許所持者の派遣の拡充
- 増え続ける外国人児童生徒等への持続可能な支援者派遣の在り方
- 日本語指導担当者のスキルアップと人材育成
- 教師のグローバル化